

修士課程

留学生選考

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	小論文	不可

下記の文章を読んで、問いに答えなさい。

中国では近年、データドリブン（データに基づき意思決定する手法。売上や顧客データなどの分析結果を基に戦略、施策を立案・実行）による IIOT（Industrial Internet of Things）が急速に発展し、中国企業での導入が加速している。

「中国版」IIOT は、生産ラインの自動化・省人化だけでなく、ものづくりの川上（設計図の作成）から川下（販売、メンテナンス）までをシステムで一体化することで、ビジネス全体のスマート化を図っている点に大きな特徴がある。その特徴はライトハウス工場（第4次産業革命をリードする先進的な工場のこと）の多さにも表れている。世界のライトハウス工場 189 カ所のうち、中国工場が 72 カ所と、世界全体の約 4 割（38.1%）を占め、国内の IIOT の市場規模は拡大を続けている。ある市場調査会社の発表によると、中国の IIOT の市場規模は 2023 年～2026 年の年平均成長率は約 14.7%、2026 年の市場規模は約 1 兆 4,862 億元（約 30 兆円）に達するという。中国における IIOT の急速な発展と進化は、間違いなく中国企業の新たな競争力強化につながっているといえるだろう。

しかしその一方で、景気が良くなったと実感する人はまだ少なく、消費を控える人が増えている。中国企業による新たな競争力強化が広く人々が恩恵を感じられるようになるためには、どうすればよいのか、私見を述べなさい。

参考文献：

益森 有祐実「政府主導で 5G・AI との融合や応用も推進 中国企業の IIOT 導入が加速（1）（2）」

JETRO・地域分析レポート 2025 年 8 月 4 日。

令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	経済学研究科 経済学専攻
試験期別	I期
試験区分	留学生選考
試験科目名	小論文

■出題の意図

世界経済に大きな影響を与える中国経済の最新動向をどの程度把握し、更に、そこから今後の世界経済の行方について、どの程度自分なりの理解を持ち、分析できるかを図る。

■採点のポイント

- ・ 論題に記載されている内容について、どの程度把握し、理解しているか。
- ・ 設問に対し、私見をしっかりと述べられているか。
- ・ 記述しようとする内容を、論理的に述べられているか。
- ・ 日本語の表現が適切であるか。